

入選

文殊山のトイレせいそう

福井県 文殊小学校 五年

青垣 百々花

私の住んでいる地域には、^{もんじゅさん}文殊山という山があります。自然が豊かで、文殊地区の人にとってじまんの山です。私たちの学校では、毎年、春と秋に登ります。今年の春も登りました。

その後に、学年でトイレがくさかった、きたなかった、という意見が出ました。私も文殊山のトイレはきたないし、使いたくないなと思っていました。

総合的な学習の時間に、クラスで話し合っ、トイレをきれいにそうじすることになりました。みんなで仕事を分担したり、そうじに必要な物を準備したりしました。保健の先生に、

「がんばったね。」

と言われて、私もやる気が出ました。

そして、そうじの日。とてもいい天気になりました。私は、まずトイレの個室をそうじしました。水をかけたら、黒いよごれがたくさん出てきました。私は、こんなにもよごれてきたないトイレを、みんなが使っていたと思って、おどろきました。ブラシでこすると、よごれが少しずつ落ちていって、きれいになりました。

次に、トイレの出入り口をそうじしました。個室の中だけではなくて、出入り口にも水をかけると、よごれがたくさん出てきました。出たよごれを、デッキブラシで外にかき出しました。ゆかのよごれが全部きえて、きれいに見えたし、私もすっきりしました。

そうじをしていたときに、前を通った人に、

「すごいね。」「えらいね。」

と言われて、うれしくなりました。

最後に、トイレのかべや個室のドアの中に、「きれいに使ってください」と書いたポスターをはりました。私は、きれいにそうじしたから、このきれいなトイレがずっと続くといいなと思いながら、トイレにポスターをはりました。

帰りには、道に落ちていたゴミを拾いながら歩きました。学校に着いて、先生に、

「トイレそうじがんばったね。」

「おつかれ様。」

と言われて、私もうれしくなりました。

私は、自分が文殊山のトイレをよごしたわけではないけれど、文殊山に登る人のことを考えて、そうじしました。トイレだけでなく、私が通る道に落ちているごみなどは、ごみが落ちているなと思って通っているだけだったけれど、このことをきっかけに、道に落ちているゴミを拾って、この文殊地区をきれいにしていきたいです。